

# バイテクバイオエース®

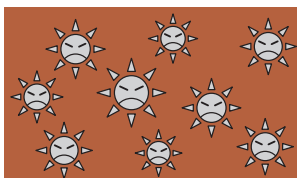
連作障害の軽減に！ バイオ21菌の働きで / 土が元気によみがえる

太陽熱  
土壌還元法

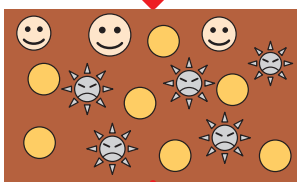
## 悪玉菌の増殖抑制

😊 バイオ21菌    ● アミノ酸など(有機物)

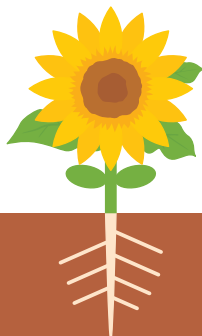
連作を続けた畑には、悪玉菌がいっぱいです。



バイテクバイオエースを投入することで、相対的にバイオ21菌が増えます。



悪玉菌が減ります(静菌効果)。



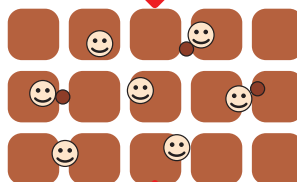
- ① 土壌中の細菌のバランス改善
- ② 保水性、排水性、通気性、保肥力の改善
- ③ 硬い土を軟らかくする

## 硬くなった土の改善

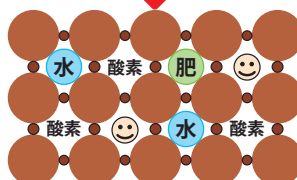
● 腐植(菌の分泌物、分解産物など)



連作を続けると、畑の土が硬く締まってきます。



バイテクバイオエースを投入すると、バイオ21菌の活動によって土が団粒化します。



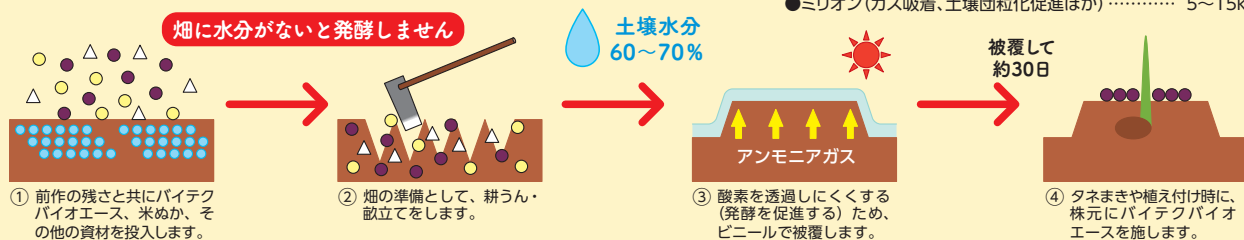
保水性、排水性、通気性、保肥力のよいふかふかの状態になります。

## バイテクバイオエースによる土をよみがえらせる方法

連作障害を軽減するためには、植え付け前に疲れた土を改善する土壌改良が必要です。従来の太陽熱での消毒に、バイオ21菌の増殖による「悪玉菌の抑制作用+土を軟らかくする作用」を併せた土壌処理法をご紹介します。この方法だと畑の土目(砂地~粘土質)を選びません。

【必要資材(50㎡当たり)】

- バイテクバイオエース(またはプレミアムバイオエース) ..... 15kg×1袋(15kg)
- 触媒(菌のエサ) ..... 米ぬか15kg
- 堆肥(作物、土目、腐植により増減します) ..... 50kg~
- ミリオン(ガス吸着、土壌団粒化促進ほか) ..... 5~15kg



サカタのタネにおいて、JAS法による有機農産物の生産に使用可能と考える資材です。



循環型農業に貢献できる農園芸資材です。



## 微生物の力でパワフルに土壌改良！

鶏ふんにおがくずや有効微生物を加え、完熟させた無臭の天然有機質肥料です。通気性、保水性に優れた土に変えることで、植物の根の張りがよくなります。また、土壌の酸度を和らげる効果もあります。

使用量の目安

- タネまき：タネまき用土 1L 当たり 3~5g
- 育苗：育苗用土 1L 当たり 10~20g
- 元肥、土づくり：1㎡当たり 150~300g

窒素 約2  
リン酸 約6  
カリ 約3

## バイテクバイオエース®

■日本製(福島県福島市)

※未熟堆肥や他の有機物と併用する場合に二次発酵の恐れがあります。土と混和した後、冬期は20~30日、その他の期間は10~15日程度おいて、十分になじませてから植え付け、タネまきを行ってください。